

こんにちは 日本共産党尼崎議員団です

コロナ感染症第7波の勢いが日に日に激しくなっています。

尼崎市でも高齢者、福祉、保育施設や医療現場の疲弊、自宅待機の困難などの問題が起こっています。

また、オミクロン株の感染に限定した対応の変更などもあり、市民の皆さんから「よくわからない」といったお声をいただきます。そこで…



こんなときどうしたら？

●尼崎市での対応についてまとめてみました。



日本共産党

日本共産党
尼崎市議員団



2022年8月 コロナ対策 29号

尼崎市東七松町1-23-1
☎06-6489-6070 fax06-6489-6073
jcpam-sigidan@hcc6.bai.ne.jp

発熱・咳など症状がある



まずは仕事や学校などを休んで自宅で安静にし、事前に電話相談の上、かかりつけ医を受診してください。
必ず連絡をしてから受診を！

かかりつけ医がない方

下表の発熱等受診・相談センターに電話をしてください。
※聴覚や発話に困難のある方は、
(県) 新型コロナウイルス健康相談コールセンター
FAX:078-362-9874にもご相談ください。

発熱等受診・相談センター (尼崎市)

受付日	受付時間	電話番号
平日	午前9時から午後7時	06-4869-3015
土日祝	午前9時から午後5時	06-4869-3015

発熱等診療
検査医療機関
公表一覧 (県)



地域「尼崎市」で
検索して下さい

濃厚接触者になったかも？

定義が変更されています！
変更ポイント



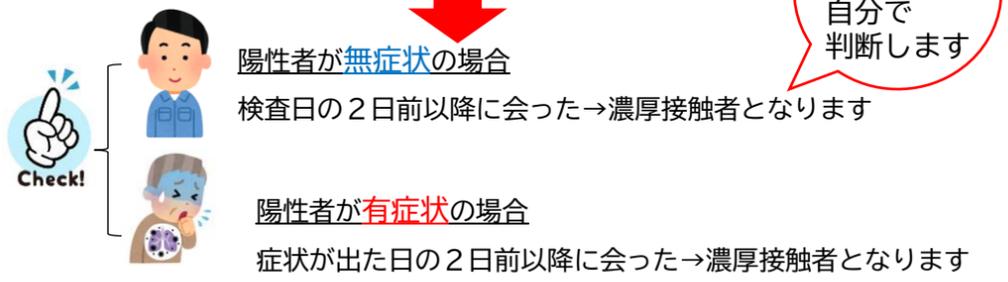
まず…濃厚接触者って？

- 新型コロナウイルス陽性者と症状が出る2日前（感染可能期間）から、手で触れることのできる距離（1メートル）で、必要な感染予防策なしで15分以上の接触のあった場合
- 陽性者と同居、あるいは長時間の接触（車内・航空機など）があった人
- 患者の気道分泌液（痰など）や体液等に直接接触した可能性が高い人
- 適切な感染防護なしに陽性患者を看護、介護した場合 など



陽性と診断された方に確認を！
①検査した日 ②症状が出た日 ③最後に会った日

保健所介入無し
自分で判断します
変更ポイント



自宅療養中の健康観察 & MY HER-SYS

保健所から体調確認の連絡は来るの？

64歳以下は保健所から連絡ありません
変更ポイント

65歳以上の方や持病のある方など、重症化リスクの高い方には、保健所が電話で体調確認を行います。
(ハイリスクの確認は保健所が行います)。
64歳以下で、持病がなくリスクの低い方には、療養期間中、ご自身で健康状態をMY-HERSYS（下記参照）で入力します。
また、発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医や検査を受けた発熱等診療・検査医療機関に事前に電話し、受診してください。

MY HER-SYSって？



尼崎市
マイハーシス
案内ページ

陽性となり自宅療養をされている方が、日々の健康状態等をショートメールで入力するシステムです。保健所がこのシステムにより陽性者の健康状態を確認し、適切な対応につなげていくことに活用するとしています。スマホを持っていない方、SMSを利用していない方は、電話による対応をしています。



尼崎市
陽性者
ポータルサイト

濃厚接触者になった！

待機期間変更しています
変更ポイント



- PCR検査が陰性でも待機期間は同じです！
- 無症状だったら…自宅待機2日目、3日目に抗原定性検査（簡易キット）が2回連続陰性なら最短3日目から待機解除となります。3日目にPCR検査が陰性であれば3日目から勤務可能となります。

陽性者ホットダイヤル (平日・土日祝 9時～17時)

体調が不安な方 080-6981-1619 または 090-9621-6098
一般質問 080-6088-4642 または 080-6088-4648

日本共産党は こう考えます

第7波 どうしてこうなった？

国が防疫体制を弱め、1日1万件の検査を4~500件に抑えてしまったため、ここをすり抜けた海外からの陽性患者が国内感染を悪化させたと想定されます。

その一方で、国は「第7波」に備えた医療・検査・保健所の抜本的な体制強化を行うどころか、医療機関に対して、新型コロナウイルス対応の診療報酬さえ次々と減額させています。

岸田首相
あてに
緊急要請
をしました！



7月22日
日本共産党国会議員団

全文はこちら→



新型コロナ感染症「第7波」から、 国民のいのちを守るための緊急要請

- 1、発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査を抜本的に強めること
- 2、医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能するよう対策を講ずること
- 3、保健所の抜本的な機能強化を支援すること
- 4、ワクチン接種について、必要とする人への接種が円滑に進むよう対策をとること
- 5、空港検疫を抜本的に強化し、まともな水際対策を行うこと
- 6、なりゆきまかせの対応をあらため、BA. 5系統への対策を明確に示すこと

第7波の特徴は？

オミクロン株BA. 2系統から、さらに感染力の強いBA. 5系統等の変異株への置き換わりの影響もあり、経験のない感染急拡大となっています。

10代未満が感染者全体の3割を占めており、ワクチン接種の徹底が必要とされています。

もう、5類にしたら？という声もあるけど…

変異株は感染力は強いものの重症化しないと言われていました。しかし高齢者の重症化率・致死率はインフルエンザよりもかなり高いと指摘されており、かつ、あらたな変異株への警戒も必要です。

感染症法における2類とは、入院勧告や就業制限、保健所への届け出などが要請され、医療費は公的負担となりますが、5類は制限はなくなりますが医療費も自己負担となり、問題があります。

日本共産党 市会議員団の思い

尼崎市では今、一日に1,000人規模の新規感染者が増えています。65歳以上の方しか保健所から健康観察の連絡ができないようになってしまいました。64歳以下の方はハース（表面参照）を使用し、その情報を保健所が把握するとしていますが、毎日5000人ほどのハースからのデータを数人の派遣職員でチェックしなければならず、全体を把握するのは難しい状況となっています。

市の相談センターは1日3400件ほどの電話がかかってくるのに回線はわずか2,3回線しかなく混乱しています。

2年以上、保健所の^{ひっばく}逼迫は解決されないまま、より大きな感染の波が起きています。保健所を増やす等、今後のことも考え対策をしなければなりません。



松沢ちづる 090-8142-5272
川崎としみ 080-1458-9931
まさき一子 090-9099-4048
山本なおひろ 090-4265-8852

稲村市長に要請書を提出しました

8月2日、日本共産党尼崎市会議員団として、市長に「市民のいのちを守るための緊急要請」を行いました。

要請書の全文はホームページからご覧になれます。以下、省略文を掲載しています。



新型コロナウイルス「第7波」の感染拡大は、本市でも新感染者が毎日1000人を超しており、これまで経験のない急激なものとなっています。

発熱外来ではPCR検査を求める市民が長蛇の列をなしています。市販されている抗原検査は欠品状態、無料PCR検査センターでも検査キットが不足しており、市民の不安や混乱等深刻な状況になっています。

市民は発熱など症状があっても受診できず、健康観察も行われぬ事態が多発しています。医療機関や高齢者・障がい者施設、保育所等では職員がコロナ感染や濃厚接触者となれば、一般の治療や業務にも支障が出てきます。このままでは、医療や福祉施設が崩壊しかねず、市民のいのちを守る対策が急務になっています。

「第7波」から市民のいのちを守るために、危機感をもって下記の対策を行うよう強く要請します。

要請項目

- 1、発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査を抜本的に強めること
- 2、保健所の抜本的な機能強化を支援すること
- 3、医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能するよう対策を講ずること
- 4、ワクチン接種について、必要とする人への接種が円滑に進むよう対策をとること